



式典に集まった多くの現地の人々



焼香する菅波 茂アムダ代表



アムダ主催のレセプション



インド風の飾付をした分院の前で、式典記念写真



下堂泰鑑妙法華寺住職から祝辞を賜る



菅波 茂アムダ代表から祝辞を賜る



慶讃法要奉告式



中島妙江導師（副導師は藤田裕正師と下堂泰鑑師）

(五) アムダ

本部は岡山市にあり、1984年に設立され、相互扶助の精神（困った時は、お互いさま）に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開し、世界三十か国に支部を設け、多国籍医師団が結成されています。代表は菅波 茂医師です。アムダの活動三原則は

「誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある」

「この気持ちの前には、国境、民族、宗教文化などの壁はない」

「援助を受ける側にもプライドがある」です。

① アスンプ

今尚太平洋戦争の爪痕が残る国々で戦渦にあつて死んだ現地の方々の霊位の慰霊のため、アムダと共同して行ったプロジェクトです。妙江師の一番弟子である大瀬戸泰康師が、常に帯同しました。

アスンプ 台湾での法要後に林阿勇上人と

- 平成12年11月 ミャンマー
- 平成14年10月 シベリア、サハリン
- 平成14年11月 フィリピンサンフェルナン
- デ・コログドール島
- サイパン
- 台湾高雄沖バッシー海峡、南シナ海周辺

また、翌年12月3日には、スリランカ等の大地震の犠牲者の慰霊を、南インドの地より供養しました。

② 被災地支援

国内外で起こる地震等大災害に際し、当寺も、次のとおりアムダを通じて義捐金を送るなど被災地の支援を行っています。



アスンプ フィリピンでの法要後に

平成7年 阪神・淡路大震災

初期の段階でオートバイで現地へ赴き、信縁者の方々の安否と慰問を行いました。その後三回にわたって物資を運び、信縁者の周辺の方々に對しても支援し、総経費は六百万円に及びました。

平成11年12月26日 インドナグプール薬草園

インドのナグプール在住の佐々井秀嶺師からの依頼により、薬草園造成についてアムダとともに支援しました。ラムテック地区マンサールにある文殊菩薩大寺の薬草公園で、薬草園開園の式典が開催されました。

平成12年11月

ミャンマー

住民の為に井戸を掘り、三万世帯が飲料水として使用しています。アムダと共同で四〇万円を寄附しました。「妙江会」の看板があります。



井戸を使う住民  
(アムダジャーナルより)

平成13年7月

ミャンマー洪水

洪水災害に際し、災害の避難場所にもなる小学校の建設資金として二十万円を寄付。平成14年12月14日の引き渡し式には住職である中島妙江師の名を記したプレートが掲げられました。

平成16年10月23日 新潟中越地震

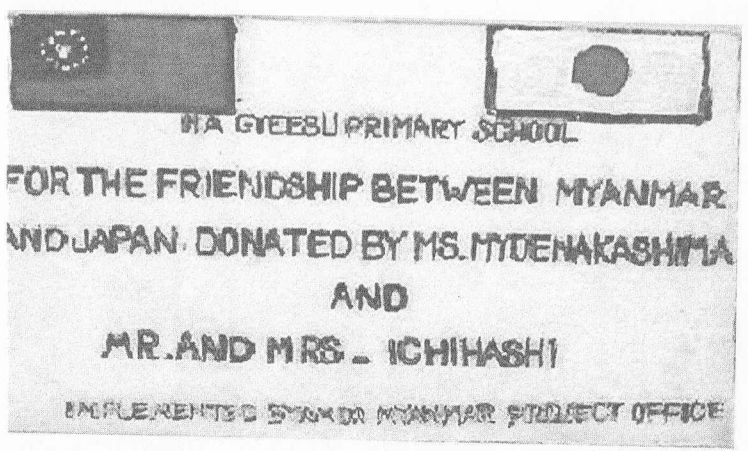
アムダを通じて義援金を送金

平成16年12月26日 スマトラ島沖地震及び津波災害

アムダを通じて義援金を送金。

平成17年10月18日 パキスタン地震

アムダを通じて義援金を送金。



(六) アジアの若者支援

① チベット

チベット文化研究所を通じて、インドのチベットの大学生を支援しました。所長のペマ氏は、チベットで生まれ、ダライ・ラマに従いインドに亡命され、十二歳の時来日されました。亜細亜大学法学部卒業後、上智大学大学院、外大AA研究所に学ばれた後に、2005年には日本に帰化されています。

日本の「おかげさま」には助け合いの精神があり、「共生の心があり、「共に生きて生かされて」の哲学があります。この「おかげさま」イズムこそ、二十一世紀の世界が平和に共存するための処方箋だと私は考えます。私にできることは、その架け橋となり、日本の国際的地位の向上に努めることで恩返しをしたいと願っております。

② インド

平成9年に、インドで仏教の布教活動を展開されている佐々井秀嶺上人の弟子で当時十九歳のダンマ・ジュテイ法尼が修行のため来日された際、二か月間お世話をしました。ただ法尼はインドに帰国後、病を得て若くして亡くなりました。哀悼の誠をささげるものです。

また、インドのナグプール出身で、薬草園開設事業やブツダガヤの一心寺の分院建立に尽力されているガジエンドラ氏が、イギリス留学を志した際、当寺の信者さんが、その費用を出して二年間の留学を支えられました。

③ ネパール

自国に幼稚園を作ろうと、単身ネパールから岡山に勉強のため来日していた、ジョディ・バッタチャンさんを当寺で三年間引き受け支援しました。

(七) お寺で稲作

日本人の主食である「お米」を自ら作り、神仏にお供えをする為に、平成18年から、安森克徳委員長を中心に、信徒によって稲作をはじめました。

収穫したお米は、御宝前に奉納され収穫の祈念がなされ、日蓮聖人と御縁のある寺院にも感謝を込めて奉納されます。